



# 久山年神社社報 第三十号 たよしの杜



宮司 本田孝裕

## 『神宮大麻その①』

神宮大麻（じんぐうたいま）とは、全国の神社で頒布されている伊勢神宮の御神札（おふだ）のことをいいます。神社での社頭頒布を始め、久山町では年末に奉賛会の役員様を通じて当神社の御神札とともに各班の奉賛会員に頒布されております。

さて、そもそもなぜ全国の神社が伊勢神宮の御神札を頒布して、なぜ御神札を祀る必要があるのか？ これについては神宮大麻の歴史から説明しなければなりません。長くなるので端折りますが、簡単にいえば「私たちが安心して生活ができ、日本国が永遠に続くよう祈るために必要なものが神宮大麻である」ということです。そのため全国津々浦々にある地域の神社を通じて頒布されているという訳です。

詳しく説明しますと、各家庭で御神札を祀るということは神様にその家の安全を見守って頂くだけでなく、常に神様の存在を身近に感じるこ

とで心の教育と社会の安定につながるということです。

私たちは子供の頃から「悪いことをすればバチが当たる。全てお天道様は見ている。」と教えられてきました。御神札を祀るといふ事神様を身近に感じることは「いつも神様が見てますよ。だから正しく生きましょう。」という心の教育になるのです。



全国の神社で頒布されている神宮大麻

子供の頃にこの道徳を教えられずにそのまま大人になると「誰も見てないから良い。バレなきゃ何しても良い。」という大人になって法を犯す人間になってしまうかもしれません。当然この道徳親は大人になってからも大切ですが、子供の頃からこういう教育を受けることで、私たちは安心して暮らすことができるのです。

また伊勢神宮の御祭神は言わずもがな「天照大御神（あまてらすおおみかみ）」です。天照大御神は皇室の御祖神、つまり天皇陛下のご先祖様であり、日（太陽）の神様です。ですから日本の国旗は「日の丸」ですし、日本という国名も「日のもと＝日本」なのです。

日本は一度も歴史が途絶えることなく「万世一系」で二千六百年以上の歴史が続いている国家です。この悠久の歴史がいつまでも続くように祈るのが全国の神職の務めですし、それぞれの地域の神社を通じて伊勢神宮に心を寄せることが地域の安泰、国の安泰にもつながる訳です。

近年、日本にはたくさんの方々が来られます。海外の人が日本に来て驚かれることが「街にゴミ箱は少ないのにゴミが落ちてない」「トイレが綺麗」「人が優しい」などだそうです。これらの事は私たち日本人からすれば当たり前のことなのですが、根底に「全てお天道様が見ている」という子供の頃からの日本独特の道徳教育があるからだと思います。

今回は「神宮大麻はなぜ神宮大麻という名称なのか？」についてご説明したいと思っております。

【授与品頒布時間】（境内仮設テント）  
 12月31日 23時～1月1日 午前3時  
 1月1日 午前8時～午後5時  
 1月2日 午前8時～午後5時  
 1月3日 午前8時～午後4時

## 新年のお参りは氏神様から



除夜祭 12月31日 23時30分～  
 歳旦祭 1月1日 0時30分～  
 ※参列は自由です

初詣は久山年神社へ！



## 令和8年 参賀一覧表

参賀名	性別	年齢	生まれ年
厄入	男性	数え年41歳（満40歳になる年）	昭和61年生まれ（とら）
	女性	数え年33歳（満32歳になる年）	平成6年生まれ（いぬ）
厄明（厄晴）	男性	数え年42歳（満41歳になる年）	昭和60年生まれ（うし）
	女性	数え年34歳（満33歳になる年）	平成5年生まれ（とり）
その他の大厄	男性	数え年25歳（満24歳になる年）	平成14年生まれ（うま）
	女性	数え年19歳（満18歳になる年）	平成20年生まれ（ねずみ）
還暦	男女とも	数え年61歳（満60歳になる年）	昭和41年生まれ（うま）
古稀	男女とも	数え年70歳（満69歳になる年）	昭和32年生まれ（とり）
喜寿	男女とも	数え年77歳（満76歳になる年）	昭和25年生まれ（とら）
傘寿	男女とも	数え年80歳（満79歳になる年）	昭和22年生まれ（いのしし）
米寿	男女とも	数え年88歳（満87歳になる年）	昭和14年生まれ（うさぎ）
七五三	女兒	数え年 7 歳（満 6 歳になる年）	令和2年生まれ（ねずみ）
	男児	数え年 5 歳（満 4 歳になる年）	令和 4 年生まれ（とら）
	男女とも	数え年 3 歳（満 2 歳になる年）	令和 6 年生まれ（たつ）

神社の祈願等は数え年で行います。各種祈願は1月1日から受け付けてます

## 今年も例大祭(久山くんち)無事に終了

10月12日(日)今年も例大祭(久山くんち)が行なわれました。

新しい催しもあり、また奉納子供相撲も昨年より参加者が多く、大変盛り上がりました。

なお、子供書道展では3名の方が各賞を受賞されましたので、紹介いたします。

【長崎県神社庁奨励賞】林栞優さん(小学六年)

【宮司賞】黒岩ほのかさん(小学二年)

【奉賛会長賞】山口こうじさん(小学三年)

例大祭にあたり、たくさんのお奉納を頂戴しましたので御披露致します。お名前の間違い・記載漏れがありましたらご容赦下さい。(順不同・敬省略)



## 例大祭御奉納一覧

【金一封奉納】

湯田清美・寺側厚巳・久山老寿会・貝津町自治会・若葉町自治会

青葉台自治会・貝津ヶ丘自治会・久山台ニュータウン自治会

久山町自治会・西諫早幼稚園・諫早市立真津山小学校

諫早市立喜々津東小学校・真津山小学校区社会福祉協議会

真津山小学校区青少年健全育成会・あおぞらこども園

長崎県中央農協真津山支店・手づくり弁当惣菜くうきつちん

NPO法人かぜのおとくやまえん・(株)勝山ロープ

吉川建設(株)・(有)祐野工務店・久山生産森林組合

消防団第7分団1部・久山旧茶屋クラブ

【奉献酒】

諫早中核工業団地自治振興会・社会医療法人三協会宮崎病院

吉川建設(株)・成就院・ミニデイかめの家



## 掲載されました

この度、びあMOOK社から出版された『人生で一度は行きたい九州の神社』に当神社が掲載されました。

神社の紹介はもちろんですが、現在のところ九州で五社だけ行なっている「御刻印」や、長崎ではタヌキ絵で有名な「堤けんじ先生」デザインのオリジナル御朱印帳などご紹介させていただきます。

ぜひお近くの書店あるいはインターネット等でお買い求め下さい。

出版元 びあMOOK社

定価 千二百十円（本体千百円）



## お伊勢さま

ふだ

## 氏神さまのお神札を

## お祀りしましょう

お伊勢さまと氏神さまのお神札は家庭の幸せを願うお神札です。朝には一日の無事を願い、夕には感謝のお参りをします。ご家族揃ってお参りすることは家族の絆を強めることにもなります。ご家族揃って幸せを祈りましょう。

新たにお神札を受けて頂いた方へ特製の神棚をプレゼント中です。詳しくは神社へお問い合わせください。  
(数に限りがあります)



## ご寄付をお願いします

毎回お願いしておりますが、改めてご寄付のお願いです。

まだまだ目標額には程遠い状況で苦慮しております。

何とぞ皆さまのご協力をお願い致します。

ご不明な点はご遠慮なくお尋ねください。

また五万円以上の寄付の方には、できるだけ無理が無いよう「分割での寄付」も受け付けています。お気軽にご相談下さい。

寄付は直接、久山年神社社務所までお持ち頂くか、左記の口座へ振り込み願います。(振込手数料は差し引いて構いません)

## 【寄付振込先】

十八親和銀行 多良見町支店 口座番号(普) 50009504

たちばな信用金庫 多良見支店 口座番号(普) 1586247

久山年神社記念事業実行委員会 宛

※振込の場合は、振込完了後に神社までご一報下さると幸甚に存じます。(お礼状発送や今後のご案内等のため)



## 推の木を伐採致しました

10月20日(月)土俵下の推の木を伐採致しました。約二年ほど前からいわゆる「ナラ枯れ」で樹の上の部分が枯れていて、少し強い風が吹くたびに枝が落ちてきて非常に危険だったためです。

伐採費用は高かったのですが、幸い被害が出る前に伐採できましたので安堵しております。



## 新嘗祭・神宮大麻頒布始祭

11月23日(日・祝)に新嘗祭並びに神宮大麻頒布始祭をご奉仕致しました。なお、今回のお祭りでは先日雇出した仕が初めてご奉仕致しました。

新嘗祭では毎年たくさんの方に初穂料・初穂米をご奉納頂いております。近頃は米が高くなってしまいましたが、今年は昨年より多い量のお米をご奉納頂きました。誠にありがとうございました。



写真提供  
辻哲也氏

## 古い御神札や御守について

古い御神札や御守、破魔矢などの縁起物は2月3日(節分)の日にお焚き上げ致しております。年末から節分まで境内に古札納所としてテントを設置していますので、その中にお納め下さい。

ただし受け付けるものは神社で受けられた御神札・御守・縁起物だけです。お寺や他宗教の御神札や御守はそれぞれの宗教施設にお返し下さい。また人形・ぬいぐるみ・神社に関係ない物も持ち込み不可です。

毎年お焚き上げ前に宮司が分別に苦労しています。ご協力をお願いします。

## 編集 後記

早いもので今年も一年が過ぎようとしています。

今年も「たよしの杜」を

ご覧頂き、ありがとうございます。また来年も発行致しますので、よろしく願います。これからはますます寒くなりますが、どちら様もご自愛の上、良い年をお迎え下さい。

